

「秋のどどんと祭り」「遊び塾」などに参加

宮崎お手玉の会が結成6周年を迎え楽しく

「頭のポケット、アイディアのポケットを増やしましょう」と、呼びかけてきた宮崎お手玉の会も、ことし結成6年を迎えます。

昨年は、10月から11月にかけて、私も「マイポケット作り」に、忙しい日々を送りました。外に出ると得られることが多いことを実感します。各地で色々な人に出会い、お手玉を一生懸命にPRし、お手玉の写真も撮りました。その一端を紹介します。

*9月30日から2泊3日で、福島県会津若松へ出かけました。若いころ「青年の船」という「日本丸」で2か月かけて太平洋を渡る旅をしました。そのメンバーの同窓会が、会津若松で行われたのです。

懇親会では、お手玉の話や変形2個ゆりを紹介し、「これからは、健康づくりにお手玉が必要」と話しました。ヨーヨーお手玉をプレゼントしました。

福島の土産店で、「祖父母」「干支」など、いろいろなお手玉に出会いました。

*10月12日(土)、宮崎市中央公園での「秋のどどんと祭り」に参加し、親子でお手玉を投げたり、積み重ねたりして遊びました。

*10月18日から20日は、東京おもちゃまつりに出かけました。おもちゃのコンサルタントや作家、グッドトイのおもちゃ屋が集まり、手作りおもちゃの紹介がありました。

ゼムクリップの輪投げ、針金のコマ、万華鏡などの体験や、伝承遊びのコナーもありました。2個ゆりの変形や、「あなたがたどこさ」で2個ゆりの1個渡しを3人でしていると、周りの子どもたちから拍手とアンコールがあり、うれしくなりました。

*10月23日(水)は、市民プラザでの地域イベントに役立つ「遊び塾」に参加しました。お手玉の会のユニホームの会員2人で、参加者20人と「お手玉1個で遊ぶ」をテーマに、歌ったり体操をして遊びました。

にぎやかな楽しい講習会となり、お手玉の会の例会に参加してみたいと言ってくださる方もありました。

*10月26日、27日は、福岡国際会議場で行われた「第67回全国レクリエーション大会福岡大会」に参加しました。日本のお手玉の会の中原和彦顧問、春田智明副会長、山本清洋副会長が講師として参加されていました。

福岡のレク仲間の熱い思いや温かいおもてなしに感動し、レクの楽しさに浸った2日間でした。支部からは5人が参加し、それぞれ別々の分科会に参加して多くのことを学びました。

*11月9日(日)に、大塚小学校で行われた「大塚小まつり」に、小さい空き箱をつないでボードを作って参加しました。離れたところからボードにお手玉を投げ

て、入った箱の点数の合計を競う「ナンバーゲーム」は、小学生にとっても人気でした。

一人でもチームでも遊ぶことができるし、学年によって距離を決めたり、小学生は、自分たちでルールを工夫しながら遊んでいました。

3人の会員が参加しましたが、お手玉は大塚の長沼さん(93歳)の手作りでした。そのほか、地域の方からたくさんのお手玉が寄贈され、宮崎お手玉の会にもいただきました。

*11月17日(日)は、小松台小学校での「ふれあいin小松台」のイベントに参加し、お手玉指導のさつちゃん先生は、どんぐりお手玉のヨーヨーを作って、子どもたちと楽しくお手玉をしました。



■だれでもできるお手玉ゲーム



■宮崎お手玉の会のメンバー



■遊び塾で簡単なお手玉遊びを披露



■「あなたがたどこさ」で楽しく